

自動車整備から福祉用具の世界へ、 福祉用具の奥深さを若い人に知ってほしい

自動車整備士をめざして 自衛隊へ

高校卒業後の進路を教えてください。

小さい頃から車が好きで、自動車整備士になりたいと思っていました。自衛隊に入れば、整備を経験しながら資格の勉強もできると考えて入隊を決めました。自衛隊では、基礎教育の後、自動車整備の基礎を学び、大阪の整備部隊に配属され整備や車検などの経験を積むことが出来ました。高校では野球部でしたし、体を動かすことは好きで、団体生活も楽しかったですね。

なぜ、介護の仕事に変わったのですか？

20代後半に、将来のことを考えるようになりました。結婚して、子どもを育てる



なら田舎がいいと感じていましたし、実家の両親のことや農地のことも考えるようになりました。今津にも自衛隊駐屯地はありますが、整備

の部隊ではなかったこともあり、26歳のときに退職を決め、実家に戻りました。職探しでは、話すことが好きだし、営業に向いているのではと思っていました。また介護保険制度がスタートし、介護の仕事も気になっていました。ハローワークからの紹介で就職を決めましたが、全く経験の無い分野でも割と楽天的に考えていましたね。

ずっと勉強ができる仕事に 魅力を感じた

入社してからの仕事を教えてください。

3ヶ月間は、先輩と一緒に福祉用具を届ける現場を回り、先輩の仕事から用具の組み立てや説明の仕方などを学ぶ研修でした。この研修で福祉用具のイメージが変わりました。車椅子や歩行器は単なる移動手段の道具ではなく、適正なフィッティングによって、使う方の姿勢が保たれ、快適な生活の助けになると知りました。また、福祉用具レンタル事業は、利用者の生活状態などを把握されているケアマネージャーからの情報を元に、その人に合った福祉用具

を用意する仕事であり、ケアマネージャーとの信頼関係が不可欠だということも分かりました。ご利用者様からの「楽になったよ」との感謝の言葉にやりがいも感じられ、どんどん変化する福祉用具についても、ずっと勉強ができる魅力ある仕事だと思いました。

どんな仕事を担当していますか？

入社して1年間は配送を担当しました。営業担当が決めた福祉用具をご利用者様にお届けする仕事です。用具を届けるだけでなく、適正な使い方などをご本人やご家族に説明します。配送を経験し、ご利用者様への対応や福祉用具についての知識も身につけていきました。その後、現在まで営業を担当しています。営業は、ご利用者様の状態に合った福祉用具を決める仕事です。また、ケアマネージャーへ常に進化させる福祉用具の情報を提供していきます。ご利用者様のケアプランについて、様々なサービス提供者が集まり検討するサービス担当者会議にも参加し、ケアマネージャー、訪問看護師やヘルパー、ご家族とともに、ご利用者様が望まれる生活ができるようチームで対応します。

若い人も福祉用具の 奥深さを感じてほしい

やりがいを感じる時はどのようなときですか？

自分の決めた福祉用具でご利用者様の日常生活が楽になり、行動が広がるのを見るときですね。身体機能は、70代でも80代でも上がる可能性があります。歩ける方はさらに歩けるように、少しでも活動が広がるように、勉強は欠かせません。適正な福祉用具の選択と使い方、そのお手伝いができる、常にやりがいが見つかる仕事だと感じています。

この仕事をめざす若い人へメッセージをお願いします。

実は、高校生の頃は、高齢の方が杖をつけて歩いておられても、車椅子の方を見

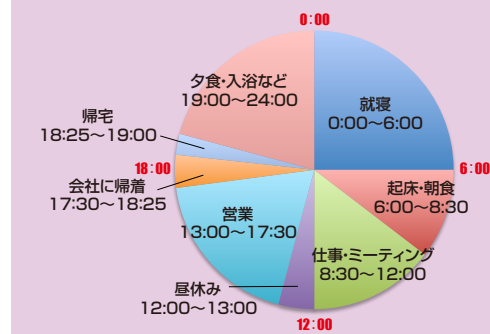


DATA

●プロフィール&高島らしさとは？

1983年、高島市生まれ。2009年、株式会社ヤサカ入社。三ヶ月前に子どもが生まれた。高島は、空気がいいし、地域には人のつながりがあり、暮らしに安心感があると思います。休日は大津へ買い物に行くが、都会へのアクセスがいいのも良いと感じています。

●1日のタイムスケジュール



かけても、特に気にしていなかったのですが、この仕事に就いてからはつい目が行きますし、困っておられるようなら声をかけるようになりました。まちを見る視点が変わりましたね。高齢化社会で、益々必要とされるこの仕事をずっと続けたいと思っています。若い人にも福祉用具に興味を持ってもらい、奥の深さを感じてほしいと思いますね。高齢になっても、適正な支援があることで、自立的に長く暮らしていける社会づくりにつながる仕事だと思っています。

株式会社ヤサカ

〒520-1621 高島市今津町今津1970-1

TEL : 0740-22-2751 FAX : 0740-22-1564

HP : <http://daisuki-kaigo.com/>